

環境への取り組み

【行動憲章7】 私たちは、積極的に環境保護に努めます。

当社は、平成14年12月に京阪グループ環境理念を制定し、環境経営を推進しています。昨年には、環境方針の重点実施項目に「公共交通利用促進」を加えました。環境負荷の低い鉄道の利用を社会に対して発信していきます。

環境管理責任者ごあいさつ

当社は、平成16年3月に鉄道業界初の会社全体でのISO14001の認証取得を達成し、会社一丸となって環境経営に取り組んでいます。本年、いよいよ京都議定書に基づく地球温暖化ガスの削減目標対象期間が始まり、企業にもより一層の環境配慮の取り組みが求められています。

鉄道は環境にやさしい交通手段と言われていますが、当社におきましては、省エネルギーを進めるなど、さらなる環境負荷削減に取り組んで参ります。また、お出かけの際にマイカー使用をなるべく控えていただき、鉄道など公共交通機関を利用していただくことは、CO2の削減となり、地球温暖化抑止のために有効です。当社は輸送サービスの向上に努め、公共交通機関の利用をお願いすることを通して、環境への意識を高めていくことに力をいれて取り組んで参ります。



環境管理責任者
執行役員 末近 義治

環境理念・環境方針

環境理念

京阪グループは、「地球環境の保全は人類共通の重要課題の一つである」との認識のもと、環境の保全や資源の保護に配慮し、自然環境にやさしい企業運営を目指すことで、持続的に発展できる社会の実現に貢献します。

環境方針

京阪電気鉄道は、京阪グループの環境理念に基づき、鉄道事業を基幹とした様々な事業活動から生じる環境への影響に配慮し対応していくことを社会的責務と認識し、次の通り「環境方針」を定めます。

1. 意識の向上 私たちは、環境への影響を常に考えながら業務に取り組み、環境問題に対する意識の向上を図ります。
2. 法規の遵守 私たちは、環境に関する法規制や当社が受け入れを決めた要求事項を遵守します。
3. 目的や目標の設定と継続的な改善
私たちは、環境にやさしい事業運営につながる目的や目標を設定し、それらを達成するために仕事の進め方を見直しながら、継続的な改善を推し進めます。
4. 環境負荷の低減や環境汚染の予防
私たちは、限りある資源を有効に利用し、省資源・省エネルギーの推進や廃棄物の削減などを図ることにより、環境負荷の低減や環境汚染の予防に努めます。
5. 重点実施項目 私たちは、当社の事業活動による環境面での影響の特性を考慮し、次の項目について重点的に取り組みます。
(1) 鉄道騒音・振動の低減 (2) 鉄道電力の削減 (3) 環境配慮設計の推進 (4) 公共交通利用促進
6. 地域社会への貢献
私たちは、企業市民であるという自覚を持ち、環境に配慮した日常の行動を通じて地域社会に貢献します。

※この環境方針は、全従業員に周知させるとともに、社外にも公開します。

平成19年10月18日
京阪電気鉄道株式会社 取締役社長 上田 成之助